

令和4年度 租税教育に関する研究発表要項

巨理町立巨理中学校

教諭 児玉彩夏

1 研究主題

「租税の意義や現状を正しく理解し、
納税者として税制の在り方や関わり方を主体的に考えることができる生徒の育成」
～ 国税庁や財務省の資料を活用し、自ら考える学習を通して ～

2 主題設定の理由

学習指導要領における租税の意義と役割の扱いとして、「統計資料などを有効に活用しながら租税の大まかな仕組みやその特徴にも触れ、国民生活に大きな影響力をもつ財政を支える租税の意義や税制度の基礎を理解できるようにする」とある。そこで、主題と副題の前半部分を設定した。また、日本国憲法では国民の義務の一つとして、納税の義務が掲げられている。義務だから納税するということはもちろん大事なのだが、税が国民生活にどのように使われているかを知り、少子高齢化や人口減少が進み、様々な災害やコロナ禍に直面している現在、これから税をどのように使っていくかを国民一人ひとりが考えたうえで、主体的に税制に関わっていく必要があると考える。そこで、主題と副題の後半部分を設定した。あと3年で3年生は選挙権をもつことになる。授業として扱う時間はわずかではあるが、これを機に税制に関心をもち、主体的に関わろうとする態度を身に付けてほしいと思い、本主題を設定した。

3 研究目標

租税の意義や現状を正しく理解し、納税者として税制の在り方を主体的に考え、関わろうとする態度を育てる指導について探る。

4 研究仮説

国税庁や財務省の資料を活用することで、租税の意義や現状を効率的に理解できるだろう。それによって、税制の在り方や関わり方について考える時間や、考えを共有する時間を多くとることができ、主体的に関わろうとする態度を育てることができると思う。

5 研究方法

- (1) アンケート調査により、生徒の税に関する実態を把握する。
- (2) 実践授業〈1〉 税について知ろう（税の種類、税収、何に使われているか）
実践授業〈2〉 税の現状について知ろう&考えよう①
（国の歳入、国の借金、借金の理由、増税について）
実践授業〈3〉 税の現状について知ろう&考えよう②（低福祉低負担、未納）
税のこれからについて考えよう
- (3) 事後調査を行い、生徒の変容を把握する。

6 研究の概要

- (1) 税に関するアンケート調査（中学3年 全4クラス 130名）

- ① 知っている税金の名前を書いてください。
- ② 納めた税金は何に使われていると思いますか。（回答省略）
- ③ 税金を納めたいと思いますか。
納めたい（77.4%） 納めたくない（22.6%）
〈納めたくない理由〉
 - ・ 買い物のときに面倒だから。 ・ 自分が稼いだお金がなくなるから。
 - ・ 国民のために使われていると感じないから。
 - ・ 何に使われているか分からないから。
 - ・ 税金という制度はいいと思うが、今の税金の使い道がよくない。
 - ・ 納得できないことにも税金が使われているから。
 - ・ 増税に対して給料は変わらず、生活がだんだん苦しくなると思うから。

〈実態調査の考察〉

税金を納めたいと思っている生徒が多く、そのような生徒は税金が医療や年金などの社会保障や、道路や公園など社会資本に使われていることを知っていた。学校や消防など、身近なところに使われていることも知っていた。一方で、税金を納めたくないと思っている生徒の理由は上記の通りである。国民のために使われていると感じない、何に使われているか分からないという理由に関しては、税金が何に使われているのかを丁寧に理解させることが必要である。また、税金の使い道がよくない、納得できないことにも税金が使われているという理由に関しては、だからこそ国民一人ひとりが税制の在り方について主体的に考え、関わっていくことが重要であることを理解させることが必要である。これらのことを意識して、実践授業に取り組んでいきたい。

(2) 実践授業 (全3時間扱い) … 指導案, ワークシートは別紙

(3) 事後アンケート調査 (中学3年 全4クラス 130名)

- ① 税の現状をふまえて、これからの税制 (税金を集めて政策に使うこと) をどうしていったらいいと思いますか。
- ・現状維持ではダメだと思う。今のままでは、少子高齢化も進むばかりだし、借金も膨れあがる一方だと思う。だから革新的な政策を出すか、今から徐々に税制を改善するなど、今すぐ取り組まなければならないと思う。
 - ・スウェーデンのように若者や学生への手当が多いと、一人ひとりのチャンスが広がり、個性を發揮できるようになると思う。そうしていろいろな機会に触れると、様々な視点から人を見ることができるようになり、差別なども減ると思う。
 - ・スウェーデンのように国民の負担を大きくし納められない人の分もフォローしてあげて、納められない人が納められるようになるまで支えてあげる。
 - ・国民全員が税金を納めても予算額に届かない気がするので、政策をよく見直して適切な税金の使い方をしてほしい。
 - ・必要な人に政策が届くようにしてほしい。
 - ・税金によって様々な政策が行われ、生活しやすくなっていると思った。
税金を使ってよりよい国にしてほしいと思った。
 - ・もっと教育や研究にお金をかけて、子どもが夢をもてるような政策をしてほしい。
 - ・税の現状について、国民に分かりやすく説明して理解を得たほうがいい。
 - ・必要性の高い政策から行っていったほうがいい。
 - ・義務教育が無料であることや医療費の一部を国が出していることは、国民の安心につながるから続けてほしい。
 - ・国民の生活が良くなるように、国が良い方向に進めるように、より良い政策を考えて、正常な税収の分配を継続してほしい。
 - ・他の国の税制で参考にできることがあれば、積極的に取り入れてほしい。
 - ・国民全体に利益を与えられるような政策をしてほしい。
 - ・税は国民が生活しやすくなるためのものだと思うから、税負担が少し大きくなってもいいと思う。
 - ・労働者の給料や定年退職の年齢を上げたりするなど、工夫をすれば税収の増加につながるのではないかと思う。
 - ・未納者は貧しい家庭がほとんどだと思うので、所得税を増やし、また、スウェーデンのように高福祉高負担の考え方を取り入れ、国民の更なる平等を目指していくべきだと思う。

- ② これからの税制にどう関わっていきたいですか。
- ・ニュースなどを見て政治に関心をもち、選挙権が得られる年齢になったら、税制について考え、投票するなどして関わっていきたい。
 - ・税金をしっかりと納めて、何かあったときは助けてもらいたい。
 - ・税金によってつくられた物などを大切に使いたい。
 - ・税の現状を理解したので、文句ばかりでなく、政策の理由を考え関わりたい。
 - ・みんなで支え合っているから感謝する。
 - ・税をきちんと納め、選挙では良いと思った政策に自信をもって投票したい。
 - ・税金をきちんと納め、政策のことを学びたい。
 - ・国の政治を知らなければ、税制の仕組みを理解することはできない。
国の政治や政策について理解を深め、税についてよく学んでいきたい。
 - ・しっかり働いて関わっていきたい。
 - ・自分自身も様々な社会保障を受けていると知ったので、きちんと税を納める。
 - ・税を納めることは、自分のためにも他の人のためにもなるので、しっかりと納めていききたい。
 - ・税はこれからの日本をつくる大切なものだから、しっかりと納めていききたい。
 - ・家族の中で税について話してみたい。
 - ・より国民のことを考えている政策を掲げている人に投票したい。
 - ・税の仕組みが変わっても、それについていけるように情報を集めていききたい。

〈事後アンケートの考察〉

実態調査の段階で税金を納めたいと思っている生徒が多かったので、事後アンケートでは税金を納めたいと思いますかという項目は設定しなかった。そのかわり、3時間の学習内容の振り返りをしつつ自分の考えも書けるように、上記のようなアンケートにした。記入する時間を長めにとり、これまでのワークシートを見直しながらいりもよいと伝えと、一人ひとり熱心に取り組む様子が見られた。ほとんどの生徒がしっかりと税金を納めたいと考えており、上記の内容からも学習の成果が感じられた。

以上のことにより、租税教育は生徒が租税の意義や現状を理解し、納税者として税制の在り方を主体的に考え、関わろうとする態度を身に付けることについて大変効果的であると思われる。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

○研究方法について

- ・実態調査により、実践授業の際に意識すべきことを把握することができた。
- ・受験との兼ね合いから授業時数を3時間と設定し、短い時間で効率的に学習するために最低限おさえるべき学習内容を精選することができた。
- ・事後アンケートの項目を吟味したことで、学習内容を振り返りつつ、納税者としての生徒自身の考えもしっかりとまとめさせることができた。
- ・ワークシートにこまめに生徒自身の考えを書かせておくことで、それらを参考に事後アンケートを記入させることができた。

○実践授業から

- ・国税庁と財務省の資料を活用すると決め、資料の精選を簡潔に行うことができた。
- ・税の種類の数や税収など簡単に予想できるものに関しては、テンポよく全員を指名することで、クイズ感覚で生徒の興味を引くことができた。
- ・税の一覧や増税に関するプリントなどを予想後に配付することで、生徒の興味を引くことができた。
- ・ロイノートを活用したことで、生徒の予想を素早くピックアップでき、スムーズに次の展開へつなげることができた。

(2) 課題

- ・教科書通りに進むと租税に関する授業は11月の半ばに行うものなので、政治の学習も終わっていない中の授業は、前後のつながり等も含めてやりづらかった。
- ・上記により、重要語句の説明をその都度しなければならなかったが、書いてまとめるまでの時間はなかったので、再度重要語句の確認として軽く扱わなければならない。
- ・国税庁や財務省の資料を、授業で使いやすいように加工するのに時間がかかった。

実践授業〈1〉 税について知ろう

	学習内容 主な発問（・） 生徒の反応（○）	指導上の留意点
導入 10分	<p>1 前時の学習を振り返る。(国民の義務)</p> <p>2 アンケートを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリントを配付する。 ・アンケートを配付する。 ・ワークシートを配付する。
税について知ろう		
展開 40分	<p>3 税の種類を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税の種類は何種類でしょうか。 → 予想を発表させた後、税の一覧を確認する。 ○思ったより多いという生徒が多かった。 → 消費税や所得税など、私たちの生活に特に関係の深い税について説明し、まとめる。 <p>4 令和4年度の税収を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の税収はいくらでしょうか。 ○億単位で答える生徒が多かった。 → 予想を発表させた後、確認する。 → 所得税、法人税、消費税などで、税収の8割以上を占めていることについて説明する。 <p>5 税金が何に使われているかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金は何に使われているでしょうか。 → 各項目の説明をした後、予想させる。 → 確認後、社会保障や民生費の割合が大きいことや地方交付税交付金について説明する。 ○国の確認後に亘理町の予想をさせた際に、民生費をAと予想する生徒が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員を指名する。 ・税の一覧を配付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・全員を指名する。 <ul style="list-style-type: none"> ・税の一覧をワークシートに貼らせ、ワークシートをノートに貼らせる。

実践授業〈2〉 税の現状について知ろう&考えよう①

	学習内容 主な発問（・） 生徒の反応（○）	指導上の留意点
導入 5分	1 前時の学習を振り返る。（前時のワークシート） → 国債費，公債費について説明する。	・ワークシートを配付する。
	税の現状について知ろう&考えよう①	
展開 45分	<p>2 令和4年度の国の歳入を知る。 → 円グラフの公債金を囲ませる。 → 国がどのように借金をしているのか説明する。</p> <p>3 国の借金について知る。 ・日本の借金の総額はいくらでしょうか。 ○前時と違って，兆単位で答える生徒が増えた。 → 予想を発表させた後，確認する。 → 国民一人あたりの額についても説明する。</p> <p>4 借金の理由を考える。 ・政策に対してお金が足りないのはなぜでしょうか。 → 予想を記入後，ロイロノートで提出させる。 → 提出させたものを全員で共有する。 → 「税が少ない」「政策が多い」「未納者がいる」をピックアップする。 ○どのクラスでも上記の項目が全て出てきた。</p> <p>5 「税が少ない」⇒ 増税の方法について考える。 → みんな平等に増税する方法と高所得者に増税する方法について説明する。 ・消費税，所得税ともに増税しても足りない。 さらに増やすためにどうしたらいいでしょうか。 → 予想を記入後，班でプリントを回させる。 → 挙手させて，全体で共有する。 ○どのクラスも，消費税増税，所得税増税が半分ずつ程度だった。</p>	<p>・印象づけさせる。</p> <p>・全員を指名する。 ・どれだけの額か実感させる。</p> <p>・これまでの発問と比べて難易度が高いので，周りと同様に積極的に声掛けする。 ・なるべく多くの生徒の予想を取り上げる。</p> <p>・増税に関するプリントを配付する。</p> <p>・税率まで考えさせる。</p>

実践授業〈3〉 税の現状について知ろう&考えよう② / 税のこれからについて考えよう

	学習内容 主な発問（・） 生徒の反応（○）	指導上の留意点
導入 5分	1 前時の学習を振り返る。(前時のワークシート)	・ワークシートを配付する。
	税の現状について知ろう&考えよう②	
展開 35分	<p>2 「政策が多い」</p> <p>⇒ 低福祉低負担, 高福祉高負担について考える。</p> <p>→ アメリカとスウェーデンの政策を説明する。</p> <p>・これからの日本の政策の在り方について, 最も良いと思うものを選びましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A スウェーデンのように, 現在よりも政策を充実させ, そのために国民の負担も大きくすべき。</p> <p>B 現在の政策を維持して, そのために国民の負担が大きくなるのはやむをえない。</p> <p>C 現在の国民の負担を維持して, そのために政策を減らすのはやむをえない。</p> <p>D アメリカのように, 現在よりも国民の負担を少なくし, そのために政策も大きく減らすべき。</p> </div> <p>→ 予想を記入後, 班でプリントを回させる。</p> <p>→ 挙手させて, 全体で共有する。</p> <p>○どのクラスも, A~Cは同じくらいで, Dは数人いるくらいだった。</p> <p>3 「未納者がいる」⇒ 令和3年度の未納額を知る。</p> <p>・令和3年度の未納額はいくらでしょうか。</p> <p>→ 予想を発表させた後, 確認する。</p>	
	税のこれからについて考えよう	
終末 10分	4 アンケートを行う。(時間を長くとり, これまでのプリントを振り返りながら記入させる)	
	<p>① 税の現状をふまえて, これからの税制をどのようにしたらいいと思いますか。</p> <p>② これからの税制にどのように関わっていきたいですか。</p>	

税について知ろう

あとから配付

Q1 税の種類は何種類？

予想 … () 種類
 正解 … () 種類

法人税	不動産取得税	宅地開発税	電源開発促進税	鉱区税	
地方法人税	固定資産税	国民健康保険税	国際観光旅客税	狩猟税	
特別法人事業税	特別土地保有税	法定外目的税	とん税	鉱産税	()
復興特別所得税	法定外普通税	たばこ特別税	特別とん税	入湯税	()
相続税・贈与税	事業所税	地方揮発油税	地方消費税	()	()
登録免許税	都市計画税	石油ガス税	地方たばこ税	()	()
印紙税	水利地益税	航空機燃料税	ゴルフ場利用税	()	()
事業税	共同施設税	石油石炭税	軽油引取税	()	()

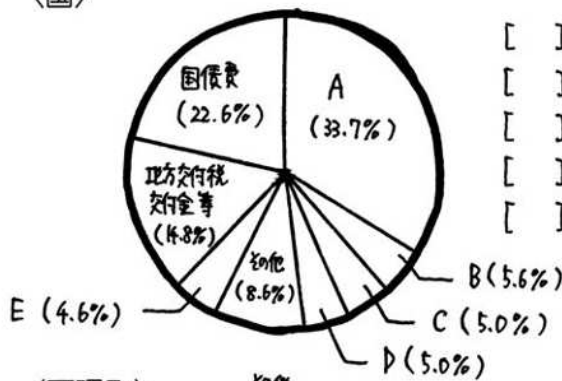
Q2 令和4年度の税収はいくら？

予想 … () 円
 正解 … () 円

所得税、法人税など	() %
消費税など	() %

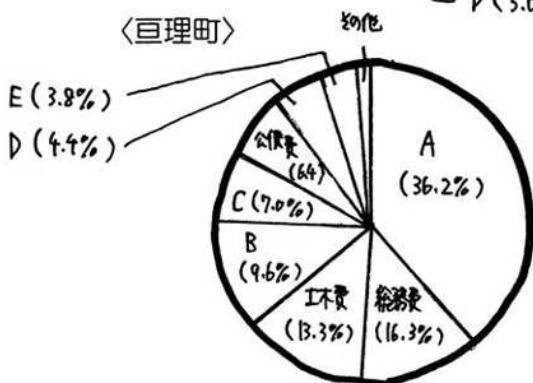
Q3 税金は何に使われている？

<国>



- [] 社会保障 … 医療、年金、福祉、介護、生活保護等
- [] 公共事業 … 道路、港湾、下水道、公園、堤防、ダム等
- [] 文教及び科学振興 … 小・中学校の教科書、奨学金等
- [] 防衛
- [] 新型コロナ対策予備費

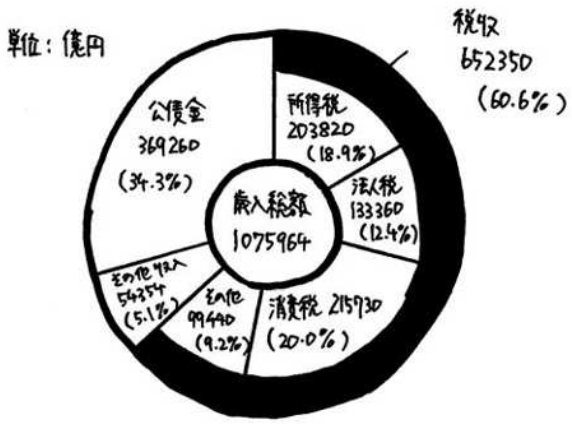
<巨理町>



- [] 民生費 … 福祉関係
- [] 衛生費 … 予防接種やごみの処分等
- [] 農林水産業費
- [] 消防費
- [] 教育費 … 小・中学校関係、図書館等

税の現状について知ろう&考えよう①

〈令和4年度 国の歳入〉



国の歳入とは、政府に入ってくるお金のこと。
 令和4年度に行う政策に必要なお金は107兆5964億円なのだが、税では65兆2350億円しか集められないので、不足分の36兆9260億円を借金しているということ。

Q4 日本の借金はいくら？ 予想 … () 円
 正解 … () 円

Q5 政策に対してお金が足りないのはなぜ？

★ 税が少ないのでは？ → どうやって税を増やすか？

- ・ みんな平等に税を増やす … 消費税が8%から10%に (2019)
- ・ お金持ちの税を増やす … 所得税の累進課税 = 所得が高い人ほど税率が高くなる
 年収4000万円以上の人の税率が45%に (2015)

でも足りない… さらに増やすために…

[] 消費税をさらに増税 (%)

[] 所得税をさらに増税 (%)

[] その他 ()

あとから自己付

税の現状について知ろう&考えよう②

Q5 政策に対してお金が足りないのはなぜ？

★ 税が少ないのでは？ → どうやって税を増やすか？

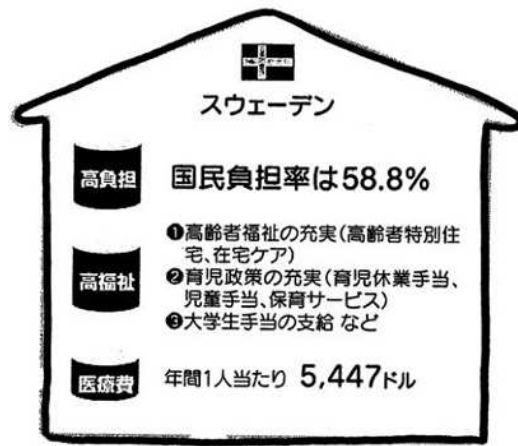
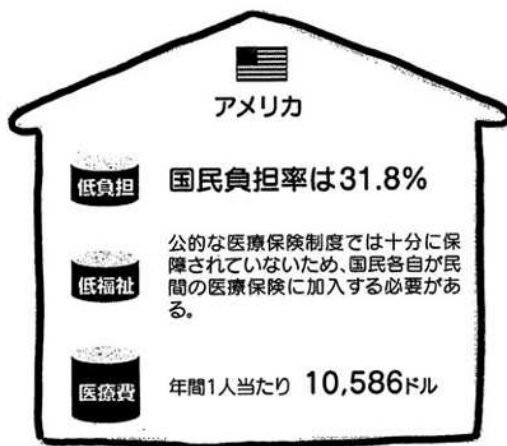
★ 政策が多すぎるのでは？ → 政策を減らす？

・ 低福祉低負担

… 政策を少なくする代わりに
国民の税も少なくする

・ 高福祉高負担

… 政策を充実させる代わりに
国民の税も多くする



ちなみに、日本の国民負担率は44.3%。

これからの日本の政策の在り方について、次のA~Dの意見から最も良いと思うものを一つ選び○をつけ、理由も書きましょう。

A スウェーデンのように、現在よりも政策を充実させ、そのために国民の負担も大きくすべき。

B 現在の政策を維持して、そのために国民の負担が大きくなるのはやむをえない。

C 現在の国民の負担を維持して、そのために政策を減らすのはやむをえない。

D アメリカのように、現在よりも国民の負担を少なくし、そのために政策も大きく減らすべき。

理由 →

★ 税を納めていない人がいるのでは？

令和3年度の未納額はいくら？

予想 … () 円

正解 … () 円

実態調査

① 知っている税の名前を書いてください。

② 納めた税金は何に使われていると思いますか。

③ 税金を納めたいと思いますか。理由も書きましょう。

(思う ・ 思わない)

理由 →

名前()

事後アンケート

税のこれからについて考えよう

Q6 税の現状をふまえて、これからの税制（税を集めて政策に使うこと）を
どうしていったらいいと思うか？

Q7 これからの税制にどう関わっていきたいか？

名前()